

大和インベスター・リレーションズ 個人投資家向け説明会 質疑応答要旨
(2022年6月4日)

Q1	直近の原材料高騰の影響、及び対応策を教えてください。
A1	<p>国際物流の混乱継続や散発的なプラントトラブルによる不安定な供給の継続、英米のロシア産原油の禁輸措置により原油・ナフサ価格が一段と上昇しており、現時点で原材料価格が短期間で下落する可能性は低い状況です。</p> <p>加えて鉱石価格の継続的上昇や光熱費・物流費の高騰、需給バランスの不均衡などにより価格が一段と上昇しています。</p> <p>ただし、対応策として汎用塗料は全地域で販売価格の値上げを実施しており、今後も全地域・事業にて販売価格の値上げを進めていきます。また、代替品の調達、販管費の見直しも並行して実施していきます。</p> <p>昨年第4四半期より利益率は改善傾向で、今後も販売価格の値上げを戦略的に実施し、緩やかな利益率改善を見込んでいます。</p>
Q2	関西ペイントとの違いを伺いたい。
A2	<p>グローバルでの展開地域やビジネスモデルが異なります。当社の特長としては、建築用塗料事業を中心に、アジアを軸としてグローバル展開していることに加え、自律・分散型経営体制による M&A の実施により、買収企業の自律的な成長を追求し、グループ間での相乗効果を拡大させている点となります。</p>
Q3	塗料技術の進歩により、塗り直しの必要がなくなるなど、塗料需要の減少は発生しないのか？
A3	<p>人口増加や都市化に伴うグローバルでの塗料需要の拡大が見込める点や、塗料に高機能性(防汚・抗ウイルスなど)を付与することは、社会課題の解決や新規塗料需要の開拓に繋がりますので、塗料市場は中長期的にも成長産業と考えています。</p>